

平成6年度 市制施行40周年

ごしやがわら

広報



シンボルマーク

平成6年

12.1 No.820

人口と世帯

10月31日現在 () 内は前回比、男 23,735(+29) 女 26,285(+16) 計 50,020(+45) 世帯 16,972(+34)



毎号とじこんでください。きつと役立ちます。

おいしかったら
むらこし

一年生の、家族大すきシリーズ⑭ (家族のことば 14ページ)

原市の財政

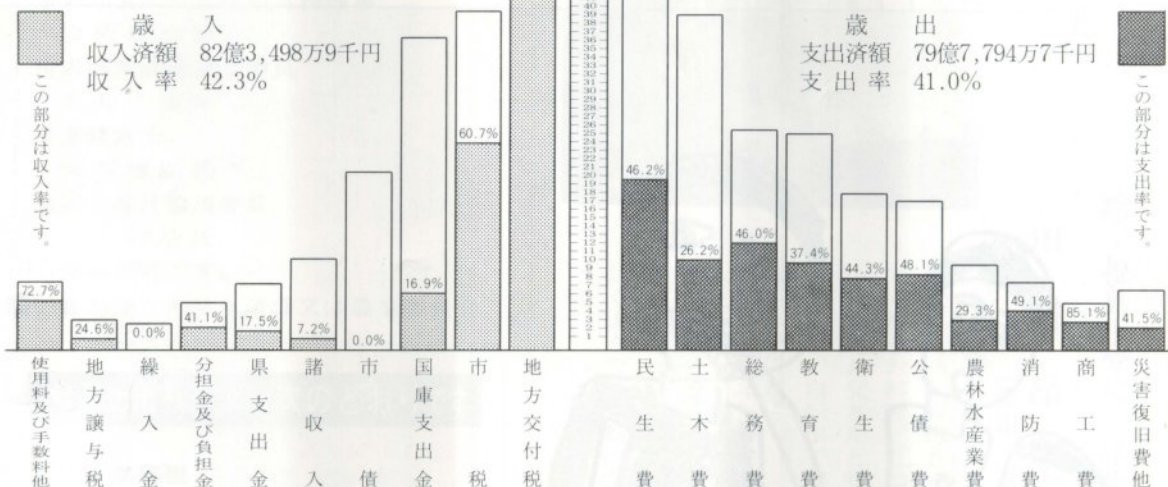
平成5年度決算の状況

市の財政がどのように運営され、どのような状況にあるかをお知らせします。

五所川原市長 佐々木 榮 造

今回は、平成6年度予算の執行状況と、平成5年度決算の状況をお知らせします。

平成6年度（平成6年9月30日現在）
一般会計歳入歳出予算執行状況
歳入歳出予算額 194億5,896万7千円
（繰越明許・通次繰越含む）



平成5年度 一般会計歳入歳出決算の状況（見込み）

歳入区分	収入済額	構成比(%)	歳出区分	支出済額	構成比(%)
市税	41億1,806万1千円	22.0	議会費	2億130万7千円	1.1
地方譲与税	3億7,190万8千円	2.0	総務費	20億7,756万2千円	11.4
利子割交付金	1億804万7千円	0.6	民生費	43億9,692万9千円	24.1
特別地方消費税交付金	673万3千円	0.0	衛生費	14億6,658万6千円	8.0
自動車取得税交付金	9,258万2千円	0.5	労働費	1億3,003万5千円	0.7
地方交付税	60億5,271万9千円	32.4	農林水産業費	9億5,618万3千円	5.2
交通安全対策特別交付金	1,125万2千円	0.1	商工費	4億7,721万2千円	2.6
分担金及び負担金	4億9,962万7千円	2.7	土木費	32億619万2千円	17.5
使用料及び手数料	2億9,459万6千円	1.6	消防費	8億5,403万6千円	4.7
国庫支出金	34億7,692万3千円	18.6	教育費	23億9,287万3千円	13.1
県支出金	6億7,264万3千円	3.6	災害復旧費	2億2,959万2千円	1.3
財産収入	8,744万9千円	0.5	公債費	18億6,502万7千円	10.2
寄附金	2,380万円	0.1	諸支出金	2,452万9千円	0.1
繰入金	3億1,722万6千円	1.7	予備費	0千円	0.0
繰越金	1億2,550万6千円	0.7			
諸収入	7億1,697万4千円	3.8			
市債	17億690万円	9.1			
合 計	186億8,294万6千円	100.0	合 計	182億7,806万3千円	100.0

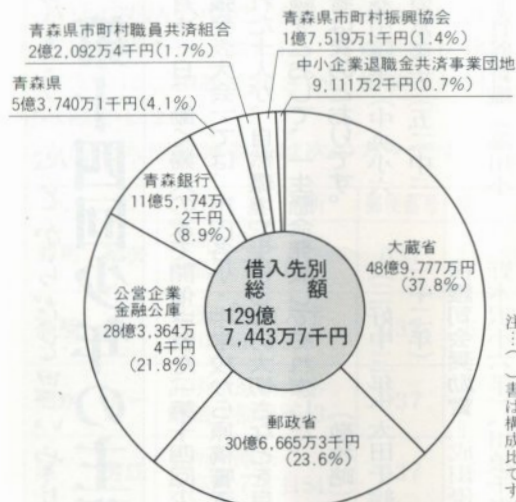
平成5年度 特別会計歳入歳出決算の状況（見込み）

会計区分	収入済額	支出済額
国民健康保険事業勘定	40億4,235万2千円	38億6,049万円
老人保健	26億3,673万4千円	26億3,643万7千円
高等看護学院	6,299万7千円	6,299万7千円
長者森平和公園造成事業	348万円	323万8千円
下水道事業	14億6,626万9千円	14億6,626万9千円
農業集落排水事業	2億1,988万5千円	2億1,988万5千円

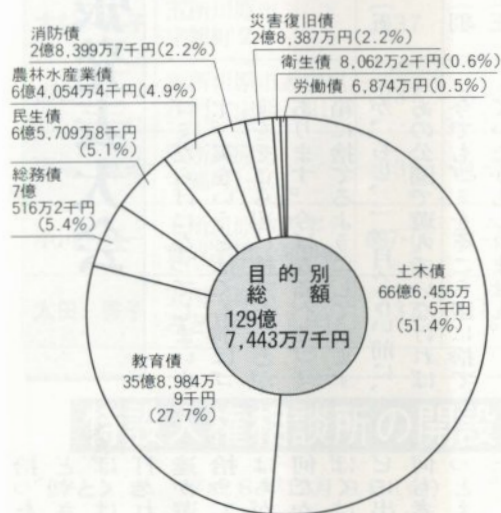
市債の状況

(平成6年9月30日現在)

市民1人当り=259,619円
1世帯当り=765,996円



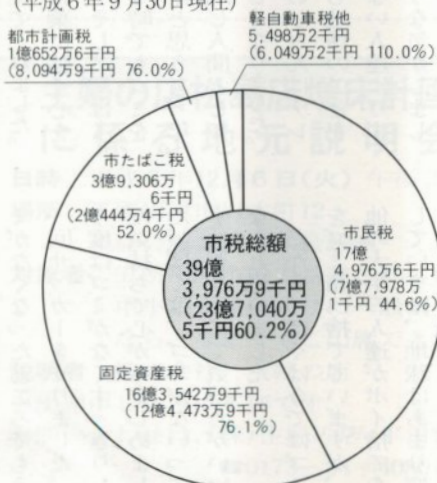
注：() 書は構成比です。



注：() 書は収入率です。

市税の負担状況

(平成6年9月30日現在)



注：() 書は収入率及び収入率です。

グラフで見る

五所川

平成6年度予算執行状況と

平成6年度 特別会計歳入歳出予算の執行状況

(平成6年9月30日現在)

会計区分	予算 現在額	収入 額	収入率 (%)	支出 額	支出率 (%)
国民健康保険 事業勘定	40億 1,951万 1千円	13億 6,023万 円	33.8	14億 1,476万 3千円	35.2
老人保健	28億 366万 1千円	12億 5,845万 2千円	44.9	12億 5,513万 3千円	44.8
高等看護学院	7,468万 5千円	409万 6千円	5.5	3,016万 7千円	40.4
長者森平和 公園造成事業	309万 8千円	294万 8千円	95.2	114万 3千円	36.9
下水道事業	14億 8,376万 7千円	1,986万 8千円	1.3	4億 7,393万 円	31.9
農業水落 排水事業	1億 6,546万 7千円	231万 6千円	1.4	3,128万 8千円	18.9

市有財産の状況

(平成6年9月30日現在)

土地	3,461,777.34㎡
うち山林	191,246㎡
建物	213,641.21㎡
有価証券	6,865万2千円
出資による権利	1億1,238万3千円
自動車	131台
債権	0千円
五所川原市土地開発基金	4億5,410万8千円
五所川原市財政調整基金	1億7,521万4千円
国民健康保険財政調整基金	1億5,615万5千円
五所川原市特別導入事業基金	254万6千円
減債基金	1億392万9千円
ふるさと創生基金	1億8,908万2千円
五所川原市地域福祉基金	3億2,619万6千円
五所川原市美術館建設基金	3,280万円
動物(牛)	54頭

一時借入金残高の状況(一般会計及び特別会計分)

月(末)	金額
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	1億6,206万9千円

育てよう、心とからだと思いやり 第十四回少年の主張発表大会

十一月十一日、働く婦人の家で開催された「第十四回少年の主張発表大会」では、市内各小・中学校から原稿審査で選ばれた十人が、自然環境や生きる事の大切さなどを自分の体験をとおして、一生懸命発表してくれました。

入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

市長賞Ⅱ 桑田陽平 (中央小六年)、柳原富美子 (五二中三年)

教育長賞Ⅱ 竹谷香織 (藻川小六年)、斉藤誠 (五三中三年)

学校警察連絡協議会長賞Ⅱ 成田優 (羽野木沢小六年)、大久保直子 (五四中三年)

青少年問題協議会長賞Ⅱ 三上誠剛 (中央小六年)、石岡智笑 (長橋小六年)、川浪千春



桑田陽平君
(中央小 六年)

「地球への思い」

みなさんは、地球について考えたことはありませんか。ぼくが見たかぎりではほとんどの人が自分のことしか考えていないように思います。特に、

ゴミだらけになってしまっています。実をいうとぼくも前はゴミをそこら辺に捨てたことがあります。今はなるべくゴミ箱に捨てるようにしています。が、もし、一カ月ぐらい前に、あの公園で遊んでいなければ今でもゴミをそこら辺に捨てていたかもしれません。

一カ月ぐらい前の日曜日、

拾った方がいいと思ってね。」とやさしく答えてくれました。ぼくは、その言葉に強く心を打たれました。そして、ぼく達が遊んでいる時でもゴミを拾っているのかと思うと、年はちがっても同じ人間として何だかはずかしくなりました。ぼくは、このおじさんはテレビに出ていても地球のことを何も考えていない人達よりずっとえらいような気がしました。

そして、次の週の日曜日。

いつものようにみんなとサッカーをやって遊んでいました。が、近くに落ちているゴミが気になってサッカーをやってもあまり楽しくありません。その時です、ぼくは、前に会ったあのおじさんの言葉を思い出しました。だから、自分のゴミといっしょにあつちこつちに落ちているゴミも集めました。最初はぼく一人だけ、しばらくすると、友達も二人きて、いっしょに拾ってくれました。ぼく一人じゃな

なくなりました。そして、ゴミがなくなるところでもう一回サッカーをやりました。今度はゴミがなくなすすきりした気持ちで心から楽しめました。ぼくは、ゴミがないってすつきりして気持ちがいいなあと思いました。

だから、ぼくは今ではゴミをゴミ箱へ捨てていますが、他の大半の人達がポイ捨てをしていては、地球はあまり変わりません。みんなが本気で地球のことを思い、考えた時、地球は変わると思います。未来のきれいな地球のためにがんばっていいと思います。でも、たしかにゴミも地球のことを思えば重大なことなのですが、もう一つ重大なことがあると思います。それは、森林の木をどんどん切っていくことです。ぼく達人間は、木などの植物があるから呼吸ができて生きていけるのです。いわば、ぼく達人間は自然とともに生きているということになるのです。それなのに、大人の人はそんなことを考えずにどんどん木を切ってい

ます。ぼくは、そんな人達は最後には自分の首をしめるはめになると思います。それに、そんなよごれた心を持った人達のために犠牲になった地球がかわいそうだと思います。

ぼく達人間はもつと地球のことを考えて、ゴミはなるべくゴミ箱へ捨てるようにするとか、木はむやみに切らないなど、もつと地球にやさしく



「ひたむきに生きる」

柳 原 富美子さん

(五二中三年)

「もし神様にお願ひするしたら、何てお願ひする。」と聞かれたらみなさんは何を望みますか。私は「志望校に合格したい。」「きれいになりたい。」と答えます。

先日、私はとある病院取材しているテレビを見ていました。レポーターが歩行練習をしている男の子にその質問をしました。男の子はたった一言「僕、サッカーがしたい。」と元気に言って、また歩行練習を繰り返していました。普

するべきだと思います。今ふりかえってみると、ぼく達人間はずつと地球に対して失礼なことをしてきました。今からではおそいかもしれませんが、これからは地球を思い、みんなで力を合わせがんばっていきましょう。未来の人達のために、この青く美しい地球を宇宙に残していきたいと思っています。

通、男の子がこう答えても不思議に思う人はいないでしょう。むしろ、あたり前だと思うでしょう。しかし、その男の子は、事故により片足に麻痺が残るというハンデを背負っている子だったのです。それでもなお、再び歩こうとする男の子の瞳には、サッカーがしたい、身体を思いっきり動かしたいという思いが込められていたのです。何て強いんだろう。何て輝いて見えるんだろう。私は目頭が熱くなっ

ていく自分に気がきました。二年前、私は祖母が入院している病院へ行きました。病院内をうろろしていた時、リハビリ室の前を通りかかったのです。そこには、貫ろく

のある女の先生と七・八才位の男の子が壁を伝って歩行練習をしていました。突然、男の子が床に座りこんでしまったのです。しかし、女の先生は何もしません。その男の子は「もう疲れた。先生戻ろう。戻ろうよ。」「もういやだあ。」と駄々をこね始めました。先生は「ゆう君、お母さんに約束したじゃない。今度はちゃんとやるって。ほら、頑張ってください。」と励ましの言葉をかけたのです。最初はぐずついていた男の子も、うんうんとうなづきながら、また練習を再開しました。周りを良く見ると、その他にも一生懸命リハビリに取り組んでいる患者さんがいました。そこには、「ほら、もう少し。」「そうそう、その調子。」と患者さんを温かく励ましている先生達の姿があり、自分達の足で立つ

て歩きだそうとする患者さんのたくましい姿がありました。私はこの人達に大きな力を感じ、そして、私もこんな力を持ちたいと思ったのです。

しかし、現在の社会では、自分と異なる人間に対して偏見や差別が行われています。残念ながら私にも覚えがあります。ある日書店で、足をひきづっている男性が歩いていました。私は何気なく見ていたのですが、本人と目が合い、何となく気まずい思いになった事がありました。その時、私の中にあつた気まずさは、ひよつとしたら偏見、差別であつたかもしれせん。そして、その人はどう思つただろうという後悔と自分に対する、やるせない気持ちが進み上げて来ました。

みなさんは「健康」という言葉を聞いて、どんな事を考えますか。普段の生活の中では誰もが健康をあまり意識せず、何気なく暮らしているでしょう。私は中学三年間卓球部に所属し、毎日一生懸命練習をする事によって、大会に

出る事ができました。それは私が健康であつたからこそ、成し遂げられた事だと思います。今、必死に自分のハードルを乗り越えようとする男の子を思うと、私を五体満足に生んで育ててくれた両親に感謝したいと思いました。私は両親からもらつたこの健康な体を大切に、他の人をも助けてあげられる仕事に就きたいと思っています。

今、私は理学療法士を目指しています。障害を持つ人やケガをした人達が、元気に社会へ戻れるようにリハビリなどの手助けをする仕事です。私にもあの先生のようにできるでしょうか。つらい事があつても笑顔で立ち向かう勇気と根性があるでしょうか。私はどんな人にも、生きる事の大切さを教え、励まし続ける事が出来る人になりたい。障害を持つ人の手助けをして、共に歩んでいきたい。希望をなくしてしまつた人には、私の持ち前の明るさで光を与えてあげたい。そんな人間に私はなりたいたいと思います。

秋の叙勲

本市から三人受章

国家や公共のために功績のあった方に贈られる、秋の叙勲の受章者が十一月三日に発表され、本市から、次の三人が受章されました。

◆ 勲四等旭日小綬章



佐々木 啓二氏 (70)

鉄道事業功労

(元津軽鉄道社長)

市内松島町七・九

◆ 勲四等瑞宝章



地方自治功労

(元市議会議員)

市内藻川字村崎五五五・一

◆ 勲五等双光旭日章



教育功労

(元公立小学校長)

市内上平井町一〇七

秋の褒章

本市から一人受章

「この道一筋」に精進し、国民の模範となった方に贈られる、黄綬褒章の受章者が十一月二日に発表され、本市から次の方が受章されました。

◆ 黄綬褒章



三 浦 勝 正氏 (64)

「造園三浦」代表 (造園業)

市内一野坪字麻ノ葉一・一八

心に豊かさとりを

第二回働く婦人の家利用者発表会

婦人の趣味・教養・憩いの場として、各種講座やサークル活動に、交流の輪を大きく広げている働く婦人の家(市内新町)の利用者による「第二回働く婦人の家利用者発表会」が、十一月十二、十三日の二日間同館を会場に開催されました。

お茶会や生け花、書道、和



入る作品に見入る市民のみなさん



盛況であった舞台発表(みつば会のみなさん)

裁、編み物などの作品展示の他、舞台では、3B体操、民族舞踊、日本舞踊、ストレッチ体操など全館挙げての発表会となりました。

また、元東北女子短期大学教授郷土料理研究家の高橋みちよ氏による「青森県の郷土料理」の記念講演もたいへん好評でした。

善意の花かこ

——どうもありがとうございます

◎美術館建設促進期成会へ

○協伸工業株式会社(佐藤喬太郎代表) 〓百万円。

○中谷登貴雄さん(末広町九・三〇) 〓十万円。

◎社会福祉へ

○株式会社中三五所川原店 〓傘他七点。

俳句

津軽鉄道水車吟社

芒原汽車往く方へ波立ちぬ

内山 涛村

化女沼のダムに底なし冷まじ

や 対馬 暉子

冷まじやゴム長重く暮部落

小野 雪村

鉄路人俄かに朝の冷まじく

三和 千哥

冷まじや職を求める人の列

坂田 雑人

芒原抜けて終着駅直近か

渋谷 房子

秋の蚊や畠に雨の少し降り

大屋久美子

冷まじや音なく落ちる日の早

さ 工藤 暁村

秋の蚊は横寝の耳にささやけ

り 敦賀 栢村

花芒一直線のマイロード

天内 涵仙

すさまじく夕雲迫る裸山

三和 篁村

ふるさとのみなさん お元気ですか

(3)

東京など、首都圏在住の五所川原出身者で組織する、「わ・五所川原会」会員の、ふるさとへのメッセージです。



「津軽に還る^{かえ}」

三 上 八 大 さん

(東京都・足立区)

(錦町出身)



津軽は、そろそろ雪です。

津軽の皆さん、お元気にお過ごしのことと思います。高校卒業後、津軽をあとにしてから、すでに二十数年の歳月が流れました。あの頃の紅顔の美少年？も今はオフィス街をせわしく歩き回る普通のおじさんと呼ばれる年齢になった訳です。都会に出たての頃は、いなか者と思われぬ様、一生けん命に慣れぬ共通語を話していた時期もありました。

しかし、不思議な事に三十才を過ぎる頃になると、見知らぬ街角でフイに東北なまりの会話を耳にすると、どこか気恥ずかしい様な、懐かしい様な気持ちになり、つい振り返っている自分に気づきます。そして今では、会社の先輩、後輩はもちろん、知人、友人達に青森県がいかに素晴らしいところか、津軽がいかに美しく人情味にあふれた土地か

を、酒をかたむけながら、つい話してしまうのです。若い頃、遠かった津軽が、年をとる毎に身近なものになってきます。寒い夜、青森リノゴをかじりながら、自分から根っからの津軽人であることを強く感じる今日この頃です。



五所川原市域の 中世史を解明

五所川原市史ミニシンポジウム

市史編纂・編集委員会と市教育委員会主催の「五所川原市史ミニシンポジウム・飯詰城をめぐる諸問題」が、十一月五日、飯詰コミュニティセンターを会場に、約百人の参加者を得て開催されました。



これは、先般発刊された「五所川原市史・史料編1」をもとに、今一度、五所川原市域の中世を考えてみよう、というものです。

シンポジウムでは、中央学院大学助教授の市村高男氏による「中世城郭研究の現状と飯詰城跡」と題した講演の後、弘前大学助教授の齊藤利男氏が「北方の都市世界―人と文化のネットワーク」、市史編集協力者の小山彦逸氏（上北郡七戸町）が「縄張り」からみた飯詰城、同協力者の半沢紀氏（五所川原市）が「表採した陶磁器をめぐる」と題して、それぞれ飯詰城館跡の調査報告をしました。

活発な意見交換がなされたシンポジウム

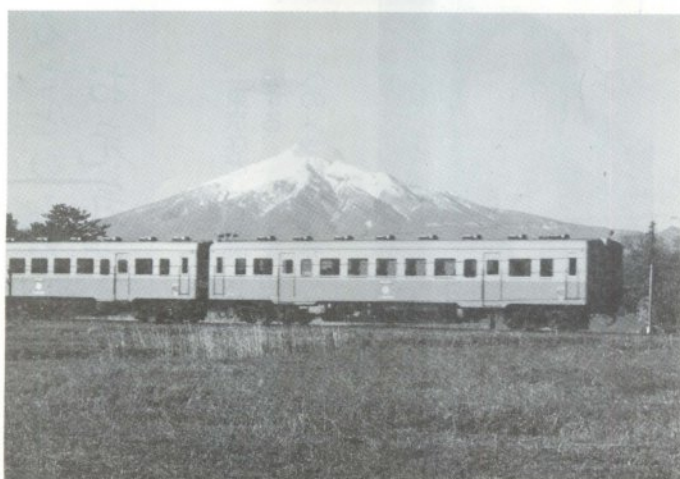
続いて、弘前大学助教授の小口雅史氏を司会者に討論会が行われ、中世史の解明に向け活発な意見交換がなされました。

いつまでも

元気に走ってほしい！

わが『津軽鉄道』

昭和五年から沿線住民の足として津軽平野の中央を、五所川原、金木、中里へと、十二の停留所を結んで走る津軽鉄道が、利用客の減少等により、今、存続の危機に直面しています。



秀峰「岩木」を背に、今日もがんばっています。

自家用車の普及等により、年々、利用客の減少が続いている津軽鉄道は、昭和五十年から国や県の補助を受けながら経営を続けてきましたが、国は今、全国的に、赤字ローカル線の補助の打ち切りを出していることから、これに対応するため、佐々木榮造五所川原市長を会長とした津軽鉄道活性化協議会（五所川原市・金木町・中里町・市浦村・小泊村）では、民間鉄道として、青森県に初めて誕生し、六十年間沿線の人々の思いを乗せて走り続けてきた歴史ある津軽鉄道の存続を求めて、国に働きかけるとともに、利用客の拡大を図っていくことにしています。

また、津軽半島振興対策協

議会（一市九町十村、会長、佐々木榮造五所川原市長）では、半島振興のために、重要な基幹交通である津軽鉄道の維持、存続のため、村山首相をはじめ、小沢国土庁長官、亀井運輸大臣宛に、「津軽鉄道を存続させたい半島住民の声を實現する請願書」と、存続を望む、約五千四百人の署名簿を、十月十日、ふるさと交流圏民センターで行われた、「半島活性化シンポジウム'94 in 津軽」に出席した、小峰国土庁長官官房審議官に手渡すなど、半島挙げての存続運動を展開しています。

風鈴、すず虫、ストープ列車など、季節毎に旅心を誘う、情緒あふれる雰囲気、最近、特に都会の人々の心をとらえています。津軽鉄道を存続させるためには、沿線の私達が、ひとりでも多く、この列車を利用することではないでしょうか。

車は便利ですが、時には、車窓から、広大な津軽平野をゆったりと眺める旅など、いかがでしょうか。



旅情誘う駅舎



でも日中は、一人か、二人



朝夕は、こんなに満員

住みよい環境づくり

入選作品表彰

十一月十日、働く婦人の家で行われた、平成六年度住みよい環境づくり入選作品表彰

式での特別賞受賞者は次のとおりです。
(敬称略)

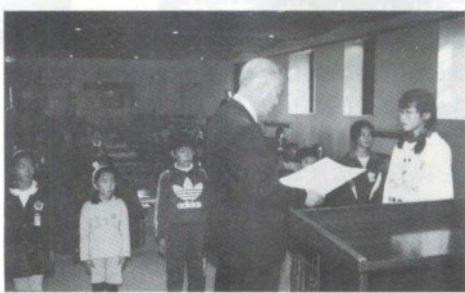
小学校の部

標語 葛西里子(五小五年)、加藤英理(五小六年) 作文 成田陽子(五小五年) 習字・書道 佐藤研司(栄小三年)、長内俊之(五小五年) 図画・ポスター 前田襟里奈(南小二年)、太田沙耶花(中央小四年)

中学校の部

標語 篠塚優子(五三中三年) 作文 阿部晶子(五一中三年)、伊藤真美(五三中三年) 習字・書道 太田裕介(五三中三年)

表彰風景



第二十三回「ストーブ列車」

俳句募集

課題 「ストーブ列車」
あて先

ストーブ列車・ストーブ汽車
ストーブ汽車・暖炉車

一人三句・はがき使用のこと

投句締め切り
平成七年二月二十日

賞

最高得点者に津鉄社長賞

〒037五所川原市字大町三九
津軽鉄道(株) 内

水車吟社 三和童村

特集号「ストーブ列車」ご希望の方は、郵便切手三百円をお送りください。

(三月上旬発行の予定)

中学生・友好親善訪中感想文②

市制施行四十周年記念事業の「中学生・教育関係者友好親善訪中団」で、市内の中学生六名が日中友好親善の交流を深め帰国しましたので、感想文をシリーズで紹介します。



「中国旅行を終えて」

五三中二年

工藤 智美

今回(北京、西安、上海など)中国旅行をしてみ、改めて日本との違いを実感しました。

まずは、食生活、国の広大さ、そして今まで築きあげてきた文化などです。

文化の面は、昔日本が中国から、いろいろなものを取り入れてきたことで少し似通っていますが、その建築物の大きさが日本では考えられな

い面積なのです。

漢字も仏教もすべて、中国から取り入れたもので、日本と中国とは切っても切れない関係なのではないでしょうか。また、水道の水は直接飲むことができないし、食生活の面では、生ものは果物ぐらいですべて油を多く使って火を通した物ばかりで私にはちょっと合いませんでした。でも味はとてもよくて、大きな皿から自分の分をとって食べるのです。

それにしても、やっぱり中国の広さには驚きます。

どんな建物をつくるにも、必ず大きな面積がなくてはつくれません。日本ではとうてい無理な建物でも中国では可能になるのです。その例に、万里の長城、故宮などがあります。

こうして本当の中国をまのあたりにしたことをこれからの自分の勉強に、役だてたいと思います。



上海、「少年宮」前にて

「あおり活性化大賞」募集

青森県市町村活性化対策協議会では、県内で各団体が取り組んでいる地域活性化のための優良事例を表彰する「あおり活性化大賞」を選定し、その受賞事例を県民に広く紹介することにより県内の地域おこし活動の啓発を行っています。対象となる取組みは、産業や文化の振興、他の地域との交流などの地域活動やイベントの開催など地域活性化につながるものであれば、その内容に特に制限はありません。

〔応募要領〕

▷資格 常設されている組織であるか否かを問わず、次の対象事例のいずれかに該当する取組実績を有する団体、グループ

▷対象事例

- 地域の産業、文化の振興・PRに寄与したと考えられる活動
- 人、資源等の地域間交流を目的とした活動
- 特定のテーマを持って行ったイベントの開催

▷応募方法 所定の応募調書を受付期間内に持参又は郵送

▷応募期限 平成6年12月16日（金）

▷応募先 五所川原市役所企画調整課

☎35-2111（内線 315）

又は青森市長島1-1-1 青森県総務部地方課内
青森県市町村活性化対策協議会事務局

☎0177-75-3161

▷表彰内容 あおり活性化大賞 1点

あおり活性化大賞奨励賞 3点程度

▷その他 応募調書の請求及び詳しい内容についてのお問い合わせは、五所川原市役所企画調整課又は青森県市町村活性化対策協議会事務局まで御連絡ください。

年末年始の犯罪及び事故の防止

実施期間（平成6年12月15日（木）から）22日間
平成7年1月5日（木）まで

活動重点

- ①年末・年始において特に警戒を要する犯罪の取締り
- ②少年非行と福祉犯被害の防止
- ③暴力団の取締り
- ④交通事故の防止及び交通渋滞の緩和
- ⑤雑踏事故の防止

五所川原地区暴力追放推進協議会
五所川原警察署

冬期室内テニス教室

テニスで冬の間の運動不足を解消しませんか。

12月10日から2月18日まで8回、初・中級者を対象としたテニス教室を開催いたします。詳しいことについては下記へお問い合わせください。

◎会場 市民体育館

◎開催日 12月10日・17日

1月7日・14日・21日・28日

2月4日・18日

◎時間 午後7時～9時

◎主催 市テニス協会

◎問い合わせ先 ☎35-7672 今井誠一

光彩会（油絵）会員募集

例会 毎月第2・第3木曜日

時間 午前9時30分～4時

場所 市中央公民館 2階 工芸室

※7月～9月迄の3ヵ月間は、日展審査員の伊藤正規先生に指導を受ける事が出来ます。

年会費 3万円

連絡先 五所川原市雑田141-14

中村恵美子 ☎34-8336

講演会を開催します

演題 「インドの子供の足長おじさんになりませんか？」

日本の個人からインドの個人へ直接、教育援助する運動～小さな資金のビッグなプロジェクト～そんな感動のお話を聞く時間です。

講師 野上 四郎 氏

内湯療護園園長（中里町）

とき 平成6年12月7日（水）10：00～11：00

ところ コミュニティセンター栄 ☎35-1926

主催 椿の会（食物と環境を考える会）

連絡先 葛西 彩子 ☎34-8296

後藤 しみ ☎34-8798

国民年金 保険料を 納めましょう

保険料の納め忘れがあると、万一の事故などのとき障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなかったり、未納の期間が長くなると将来、老齢基礎年金さえも受けられなくなることもあります。納め忘れがないか、もう一度お確かめください。

第46回 人 権 週 間

12月4日～12月10日

毎日の生活の中で、何かお困りの時はいつでも
も人権擁護委員、または、青森地方方法務局五所
川原支局にご相談ください。相談は無料で、秘
密は厳守します。

当市の人権擁護委員は次の方々です。

氏 名	住 所	郵便番号	電 話
対馬 郁夫	五所川原市 松島町7丁目20	037	34-3121
高橋 武一	五所川原市大字 藻川字千年356	037	36-2794
船水 信一	五所川原市大字 飯詰字福泉85-3	037	37-2127
原 芳江	五所川原市 松島町7丁目54	037	35-8590
大村 光子	五所川原市 字旭町2	037	35-6363
山口千代一	五所川原市大字毘 沙門字中熊石211-1	037	36-3938
坂本 憲昭	五所川原市 字錦町1-101	037	34-2293
中川 兵一	五所川原市大字 豊成字田子浦104-3	037-06	29-3073
太田 啓子	五所川原市 みどり町4丁目18	037	34-4274

特設人権相談所の開設

- ▷ と き 平成6年12月9日(金)
午前10時～午後3時
- ▷ ところ 市内新町「働く婦人の家」
- ▷ 相談担当者 人権擁護委員・法務局職員

主婦の店松島店増床計画 に係る地元説明会

- 日時 平成6年12月6日(火) 午後2時
- 場所 五所川原市岩木町12
産経会館5階 大会議室
- 対象者 五所川原市内で営業されている
中小小売業者並びに一般消費者
ならどなたでもご出席できます。
- 説明者 株式会社 主婦の店
- ※出席申し込みは不要です。
- お問い合わせは、(株)主婦の店 平田まで。
☎0173-34-4080(代)

成人式は1月15日に行います

市では、20歳を迎えた方をお祝いするため、
次のとおり成人式を行います。対象者には、12
月中旬にハガキで通知いたします。なお、学校
や仕事の都合で市外に居住しておられる市出身
者の方の参加も歓迎しますので市教育委員会生
涯学習課へご連絡ください。

▷ 日 時

平成7年1月15日(日) 午前11時～

▷ 場 所

ふるさと交流圏民センター 大ホール
(市内幾世森)

▷ 受付時間 午前9時30分～午前10時50分
(時間厳守)

▷ 対 象 者 昭和49年4月2日から昭和50年4
月1日までに生まれた方

▷ 申し込み先 市教育委員会 生涯学習課
☎35-2111 (内線250)

「はたちの主張」発表者募集

新しく成人になられる方に、日頃感じている
ことを述べていただく「はたちの主張」発表者
を募集します。皆さん、ふるってご応募くださ
い。なお、選ばれた方には、成人式当日に発表
していただきます。また、発表された方には、
記念品を差し上げます。

▷ テーマ 成人式を迎えるにあたって感じて
いること、決意など。

▷ 発表時間 約5分間
(400字詰原稿用紙2枚程度)

▷ 応募資格 新成人
(昭和49年4月2日から昭和50年
4月1日までに生まれた方)

▷ 期 限 平成6年12月20日(火)

▷ 申し込み先 市教育委員会 生涯学習課
☎35-2111 (内線250)

平成7年 新年名刺交換会

- ▷ 日時 平成7年1月1日(日) 午前11時
- ▷ 場所 ホテルサンルート五所川原2階
- ▷ 会費 3,000円(申し込みと同時に納入
ください。)
- ▷ 申し込み締め切り 12月22日(木)
- ▷ 申し込み先 市総務課または五所川原
商工会議所
- 主 催 五所川原市
五所川原商工会議所
市内農業協同組合懇談会

移動採血車が来ます

※献血していただいた方に生化学的検査サービス

献血をしてくださった方には、肝臓・腎臓などの内臓機能の働きを調べる血液検査を行い、後日結果をお知らせします。

期 日	時 間	場 所
12月1日 (木)	午前10時から 11時30分まで	青森日産自動車(株) 五所川原店敷地内
	午後1時から 4時まで	白生会胃腸病院前
12月13日 (火)	午前9時30分から 午後3時まで	五所川原商業 高等学校敷地内

12月の保健センター相談日

毎日の生活の中で、育児、健康面で悩みの方、保健婦、看護婦、栄養士がお待ちし、ゆったりとした気分で相談が受けれます。どうぞご利用ください。

種 別	開 設 日	内 容
母と子の 相談日	第1・第3(水) 12月7日・21日 10時～12時 13時～15時 (第3の午後は 予約相談です)	乳児・幼児の発 達相談、育児の 相談、お母さん の悩みごと相談 など
成人の 相談日	第2・第4(水) 12月14日・28日 10時～12時 13時～15時 (第4の午後は 予約相談です)	血圧の相談、食 事の相談、心身 でご心配なこと など

予約相談は随時、電話で受け付けます。

安全はスピードダウンと ゆとりから 年末年始の交通安全運動

実施期間 (平成6年12月15日(木)から) 22日間
平成7年1月5日(木)まで

運動の重点 ①冬道の安全運転の推進
②飲酒運転の追放
③シートベルト着用の徹底

冬道の安全運転

‡ 1割のスピードダウン ‡
‡ 2倍の車間距離 ‡
‡ 3分早めの出発 ‡

五所川原市交通安全対策協議会
五所川原警察署

ふるさと交流圏民センター(オルテンシア) 催物ご案内(12月6日～12月20日)

〈大ホール〉

日 曜	催 物	開 演	入 場 料
7 水	ブラハ少年少女合唱団 クリスマスコンサート	18:30	S 席 3,000円 A 席 2,500円 学生席 1,000円
9 金	日本原燃(株)ふれあい コンサート「大橋純子」	18:30	整 理 券
11 日	歳末助け合い芸能祭	10:00	整 理 券

〈小ホール〉

日 曜	催 物	開 演	入 場 料
6 火	労働災害安全研修会	14:00	
8 木	21世紀むらづくりパ ネルディスカッション	13:30	無 料
17 土	山内音楽教室 ピアノ発表会	15:00	無 料
18 日	映画の上映会「先生 あした晴れるかな」	9:30	子 供 800円 当日1,000円 大 人 1,000円 当日1,200円 観 覧 券 1,600円 当日1,800円

生活講座受講生募集 働く婦人の家

○クリスマスケーキ作り教室

～クリスマスには手づくりのケーキを～

講師 半沢寛倫 (ハンザワ店主)

日時 12月14日(水) 午前10:00～12:00

12月14日(水) 午後6:30～8:30

募集人員 各32名

○おせち料理教室 (青森県商工労働部共催)

～お正月にはあなたの作る家庭の味で～

講師 山本 淳 (五所川原料理学院院長)

日時 12月20日(火) 午前9:30～12:30

12月20日(火) 午後6:00～9:00

募集人員 各24名

対象者 市内に住所又は勤務先を有する女性

受講料 無料 (材料費は各自負担願います)

締め切り日 先着順で定員になり次第締め切ります。

申し込み及び問い合わせ先

働く婦人の家 (市内新町) ☎35-8898

交通安全は家庭から

交通事故概況

(平成6年 11月20日現在)

五所川原市交通安全対策協議会

	県 内	五所川原市管内
発生	7,134 (+126)	310 (+14)
死者	109 (-24)	4 (0)
傷者	8,685 (+148)	367 (+29)

()内は前年対比

— 見てるだろう 止まるだろう 人に頼るな自分の安全 —

12月 師走

お知らせ

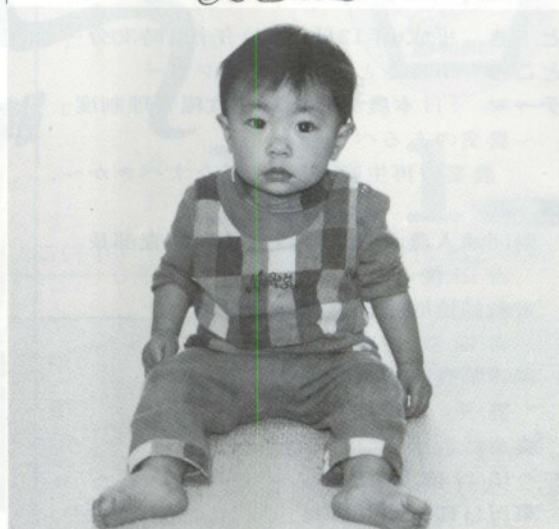
市役所 ☎35-2111

身も心も さっぱりする 健康相談室へどうぞ

- ▷ **対象** 五所川原にお住まいの方で、ご自身及び家族の身体ぐあいの事で心配されている方
- ▷ **内容** 血圧相談、病気の相談、心の相談
健康についての話し
- ▷ **料金** 無 料
- ▷ **持参するもの** 健康手帳（お持ちの方）
保健婦が相談に応じます

開催場所	開催月日	開催時間	はなしのテーマと時間
小 曲 農村婦人の家	12月12日 (月)	10:00~ 12:00	健康で豊かな老後を 過ごすために (11:30~12:00)
若山公民館	12月12日 (月)	13:00~ 14:30	女性の泌尿器の悩み を克服する (14:00~14:30)
依元農産物 加工センター	12月13日 (火)	11:00~ 12:30	あなたの シェイプアップ (12:00~12:30)
尻無集会所	12月14日 (水)	10:30~ 12:00	さわやかな朝をむかえる ために自律訓練法をおぼえ ましょう (10:30~11:00)
姥苅集会所	12月14日 (水)	10:30~ 12:00	更年期障害をのりき りましょう (10:30~11:00)
水野尾集会所	12月15日 (木)	11:30~ 13:00	コレステロールと上 手なお付き合い (11:30~12:00)
コミュニティ センター梅沢	12月15日 (木)	10:00~ 12:00	あなたの シェイプアップ (11:30~12:00)
コミュニティ ハウス原子	12月16日 (金)	11:00~ 12:30	温泉の効用 (12:00~12:30)
コミュニティ センター飯詰	12月16日 (金)	10:30~ 12:00	元気が一番！ 心臓病の予防 (10:30~10:45)
下岩崎公民館	12月16日 (金)	13:00~ 14:30	元気が一番！ 心臓病の予防 (14:10~14:30)
長 富 消防センター	12月16日 (金)	10:30~ 12:00	
コミュニティ センター敷島	12月19日 (月)	13:00~ 15:00	女性の泌尿器の悩み を克服する (14:30~15:00)
七 和 農 協	12月20日 (火)	11:00~ 13:00	あなたの シェイプアップ (12:00~12:30)
松 島 会 館	12月21日 (水)	10:00~ 11:30	ボケは一日にしてな らず~ボケないため に(11:10~11:30)
毘沙門・長富 コミュニティ センター	12月21日 (水)	10:30~ 12:00	
コミュニティ センター栄	12月22日 (木)	子供の相談 10:00~12:00 成人病の相談 13:00~14:00	
前 田 野 目 公 民 館	12月22日 (木)	12:30~ 13:30	あなたの シェイプアップ (12:30~13:00)

のびのび 赤ちゃん・満1歳



菊地円香ちゃん（梅田・福浦）

母・治子さんととても元気でよく男の子に間違えられるんですよ。このまま健康で、明るく、やさしい人になってほしいですね。

かんたん！健康レストラン 受講者募集

寒さも増し、早いものであと少しでクリスマス。いつもよりもっと楽しくなるような、クリスマス料理を作ってみませんか？

▷ **テーマ** クリスマス料理

対象地区	開催月日	開催場所	締め切り
七和地区	12月21日 (水)	コミュニティ センター七和	12月13日 (火)

▷ **時間** 午前9時30分～午後1時

▷ **料金** 無料です。

▷ **持参する物** みそ汁（おわん半分位の量を汁だけ持参ください）、健康手帳（お持ちの方）
エプロン、筆記用具

▷ **申し込み先** 地区の保健協力員へ

みんなの健康教室

▷ **日時** 12月16日（金）午後1時から

▷ **場所** 市保健センター

▷ **講師** 佐藤 仁 先生
（佐藤仁外科胃腸科医院）

▷ **テーマ** 火傷について

▷ **主催** 北五医師会・市民保健協議会

21世紀むらづくり パネルディスカッション

とき 平成6年12月8日(木) 午後1時30分～

ところ ふるさと交流圏民センター

テーマ 「日本農業の将来と食糧管理制度」
～農業のあるべき姿・

農業の再生産・今、何をなすべきか～

講師

財団法人農政調査委員会国内調査部長

吉田俊幸氏

米穀卸協同組合東精常務理事

岩佐敬山氏

青森県農政審議会委員

笠井 實氏

農業経営士

境谷博顯氏

東奥日報社論説委員

菅 勝彦氏

※入場は無料です。

問い合わせ 農林水産課又は農業委員会

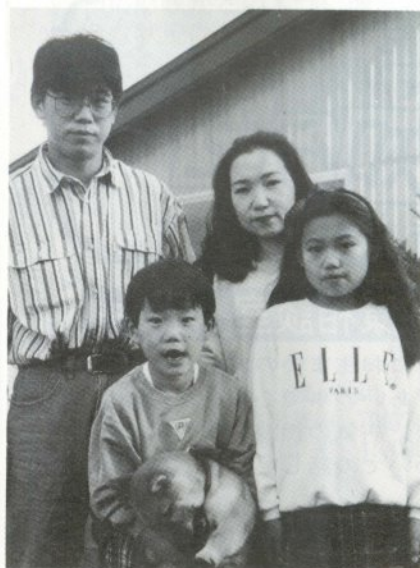
今月の市税納期は次のとおりです

○市・県民税

第4期 12月1日～12月28日

○国民健康保険税

第6期 12月1日～12月28日



表紙
「おいしかった」

絵・松島小学校一年生

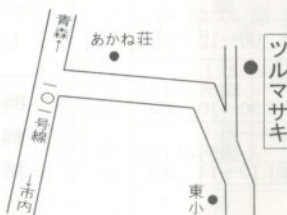
田村

昂士くん
(漆川・清水流)

昂士くん 「お母さんが作ってくれるお料理、とってもおいしい！お父さんとサッカードをしたり、自転車で遊ぶのが大好きなんだ。」
お父さん 「ひょうきんで、いつもみんなを笑わせています。これからも健康で、やさしく大きな心を持った人にと願っています。」



ツルマサキ



市の名木・古木めぐり

② ツルマサキ (ニシキギ科)

場所 前田野目字桜ヶ峰七七
所有者 大坂脩造さん

高さ四メートル・枝幅五・五

○メートル×五メートル・目

通り一・三五メートル

中山山脈等の山地に、目通り、数センチのものは多く見られるが、一メートルを越すものは、全国でも例がありません。樹齢も二百年は越えているものと見られます。

市には現在、九本の名木・古木があります。歴史・学術・鑑賞上価値のある木を、昭和五十一年四月一日に、市教育委員会が指定したものです。遠い昔から市の歴史を、じつとみつめてきた木々達の、声、聞いてみたいですね。